

2023年9月1日

株式会社ヨークベニマル  
国立大学法人茨城大学

## ヨークベニマルが鮮魚のトリチウム濃度の自主検査を開始 茨城大学 鳥養祐二研究室での受託研究として迅速測定を実施

株式会社ヨークベニマル（本社：福島県郡山市、代表取締役社長：真船幸夫）は、国立大学法人茨城大学（本部：茨城県水戸市、学長：太田寛行）に、鮮魚のトリチウム検査に関する受託研究を申し込み、自主検査を開始することとなりました。今後、ヨークベニマルが継続的に提供する鮮魚の検体に対して、茨城大学大学院理工学研究科の鳥養祐二教授の研究室において、独自に確立した迅速測定の技法を用いたトリチウム濃度の測定を都度実施します。

### 記

#### 1. トリチウム検査の目的

- （1）東京電力福島第一原子力発電所のALPS処理水放出開始後の福島県沖を中心とする太平洋沿岸の鮮魚のトリチウム濃度を測定し、情報を提供することで、安全性を確認いただき、魚を安心しておいしく食べていただくこと。
- （2）ALPS処理水放出により予想される風評被害を防ぎ、地域の水産業を守ること。

#### 2. 検査方法

茨城大学大学院理工学研究科（理学野）の鳥養祐二教授の研究室が確立したマイクロ波加熱法による迅速検査法。電子レンジを用いて鮮魚の水分を採取し、液体シンチレーションカウンターによってトリチウム濃度の基準値との比較を迅速に行うもの。

#### 3. 受託研究の契約期間

2023年8月24日～2024年3月31日（※その後の延長については別途協議）

#### 4. 検査結果の開示について

株式会社ヨークベニマルのホームページにて都度開示を行います。

[\(https://yorkbenimaru.com/information/5901/\)](https://yorkbenimaru.com/information/5901/)

以上